



趣意と共に「ストーリー」を語る

いつも楽しく venture fourth を読ませて頂いております。

4年生になり、明らかに変わってきている息子を頼もしく見ております。

これも、先生の豊かな経験と、日々勉強されている根拠に基づいてのものだと知り、とても感激しております。

私も、息子がお話しを聞ける年齢になってからは、何かを指示するときは、何故そのようにしなければならないのかを、なるべく丁寧に説明するようにしております。

ですが、私の説明が悪いのか、親の言う事は耳に入らないのか、上手く行かない事も多々あります。アプローチの難しさをつくづく感じております。それでも、伝え続けていこうと思いました。

百人一首は、家でも妹を巻き込んで、楽しく遊ばせて頂いております。学生の頃、古文の授業で数句覚えたくらいで、あとはずっとスルーして来ました。子供のおかげで、もう一度、勉強し直しております。

素晴らしい先生方が担任になり、SOLAN 小学校にとっても感謝しております。これからも、楽しみにしております。よろしくお願い致します。

最後に一つだけお願いがあります。venture fourth にページ数をふって頂けると助かります。たまにバラバラに持って帰ってくることもあり、読むのに苦労しております。よろしくお願い致します。

ペンネーム「ポケタロウ」さんより

ポケタロウさん、お便りをありがとうございます。

ページ番号の件、まずは承知しました。

こうやって、よりよい紙面づくりに協力してもらえることがとてもありがたいです。

そして、「なぜそのようにするのか」の説明、本当に大切ですよね。

お子さんへの声掛けがどれほど難しいか、私も一人の父親として感じているところですので、大変共感いたしました。

これまで、2000人以上の子どもたちに学校で「教える」ということをしてきましたが、最も難しいのはたった一人の我が子に教えることです。

それほどに、子育てという営みは難しいものだと思っています。

今度機会があれば詳しくお話したいと思いますが、学校で「教師」として教えるのと、家で「親」として教えるのには、決定的な違いがあります。

その一つが、「距離感」です。

この距離感の違いこそが、教えることの難しさを生んでいます。

しかしながら、人生を進んでいく上で「これだけは」と、どうしても伝えたいこともやはりありますよね。

その「語りの内容」と「言葉の伝え方」をそれぞれ精選して磨き上げてきたものを、昨年と今年の春に出版しました。

手前味噌で誠に恐縮ですが『心を育てる語り』と『対話力』という本です。いずれも、学校だけでなく家庭でも使えるようにと書いた本です。

ほんの少し語りの方向を変えたり、意外性のある素材を通して伝えたり、子どもたちが受け取りやすいように語りを工夫することで、大切なことが格段に伝わりやすくなります。

図書館でも入れてもらっているところもあるようなので、もしよければ参考にさせていただければ幸いです。

一つだけ例を示すと、例えば子どもたちは結構な頻度で「物」の使い方を間違えたりします。

算数の教材でキャッチボールを始めたり、図工の教材でチャンバラごっこをはじめたり。

その時も、「何のために使うものか」という趣意説明が非常に大切です。

なんのための道具かという「目的」が分かると、「なるほどこれはボールや剣とは違うのだ」ということが分かるからです。

すると、使い方を間違えた時の指導も各段に入りやすくなります。

こうした「目的」の話を伝えることは、意外と見落とされがちです。

それは、大人の視点から見ると「それくらい分かるでしょ」となってしま
うことが多いからです。

例えば、ノーベル賞を作ったのが、ダイナマイトを発明したアルフレッド
＝ノーベルであることはよく知られています。

「ダイナマイト」と聞くと、戦争などで使われるイメージがあるかもしれ
ません。

ですが、もともとはトンネルを掘ったり、土木工事を効率よく進めるため
に開発されたものです。

ダイナマイトが発明される以前は、爆薬となるニトログリセリンを直接使
っていましたが、この物質は振動や衝撃だけで爆発することがあり、とても
危険なものでした。

ノーベルは実の弟が爆薬の事故で亡くなったこともあり、この爆薬を安全
に使う方法を研究していたといいます。

そして特別な土（珪藻土）にニトログリセリンをしみ込ませると簡単に爆
発しなくなることを、ある日とうとう見つけたのでした。

こうして、ダイナマイトは発明されました。

以後、人命が失われる事故は激減しました。

世紀の大発明でした。

ダイナマイトは人の命を奪うために作られたのではなく、人の命を救うため
に生まれたものなのですね。



こうやって、「もの」が作られた目的を考えてみると色々な世界が見えてきます。

包丁は、何のために作られたのか。

電話は、何のために作られたのか。

学校は、何のために作られたのか。

楽器、教科書、お守り、お寺、神社、電気…考えられるものは無数にあります。

そして、これらの作られたものには、必ず目的があります。

それは、願いと言い換えてもいいかもしれません。

「こんな風に使ってほしい」「こんな風に多くの人役に立ちたい」、作り手の切なる願いが全てのものに込められているはずです。

それが、真に伝わるようになると、子どもたちは物の扱いをガラリと変えたりします。

自分の発明したダイナマイトが誤った形で使われるようになり、多くの人々が亡くなっていくことに、ノーベルは苦悩したといえます。

そして、次の遺言を残しました。

「自分の財産をもとにして基金を設立し、その利子を毎年、人類のためにもっとも貢献をした人に賞として与える。」

「この利子は、物理学で最も重要な発見ないし発明をした人（物理学賞）、化学で最も重要な発見ないし発明をした人（化学賞）、生理学ないし医学で最も重要な発見をした人（生理医学賞）、文学で理想主義的な最もすぐれた作品を生み出した人（文学賞）、国家間の友好と軍隊の廃止ないし削減と平和会議の開催ないし推進の為に最も尽くした人（平和賞）に与える。」

この遺言をもとに財団が作られ、1901年からノーベル賞が与えられるようになりました。

1969年にノーベル経済学賞が新設され、今では6部門になっています。

ノーベル賞にも、こうした起源があります。

ダイナマイトやノーベル賞ほどでなくとも、身近に使用している「アプリ」にもやはり「作られた目的」があります。

例えば、メッセージアプリの一つに「LINE」があります。

国内で最も知名度の高いメッセージアプリとも言えるでしょう。

2011年3月11日。

あの東日本大震災が起きた時、ほとんどの電話はつながらなくなりました。

災害が起こると、回線のパンクを防ぐために通話が制限されるからです。

そんな中、大切な人と連絡を取り合う方法として活躍したのが Twitter や Facebook などの SNS サービスでした。

電話回線とはちがったパケット回線というものを使用しているため、災害時に電話回線が制限されても情報のやり取りをすることができます。

7年前に起きた熊本地震。

私の妻の姉や親せきが大勢住んでいる場所でした。

電話は、やはり使えなくなりました。

けれども、「ライン」はつながりました。

「みんな無事だよ」「安心してね」

そのことが分かっただけで、どれほど安心したことか。

無事を確認しただけでなく、その後の状況についても連絡を取り合い、励ましの便りを送ることもできました。

災害が起きた時でも、大切な人と連絡を取り合えるサービスを作ろう。

そうして誕生したのが「ライン」です。（「既読」という機能は、返信する余裕がなくても相手に安心してもらおうという思いでつけられました。）



しかし、こうして生まれた「ライン」を、まったく別の目的のために使う人もいます。

人の悪口を書き込む人。

人を傷つける目的で使用する人。

「グループはずし」「既読スルー」などと呼ばれる行いで、「いじめ」を行う人もいます。

アプリがきっかけで、尊い人の命が奪われてしまった事件も多数報道されるようになりました。

実は数年前、ラインの会社の方に私は直接ご意見を伺う機会がありました。会社の方々は、今の状況に心を痛めておられました。

そんなつもりで作った道具じゃない。

人々の役に立つように作ったアプリなんだ。

そういう思いが話の端々から伝わってきました。

同じように子どもたちが使っているアイパッドも、非常に魅力的な道具です。

入っているアプリや機能も非常に多彩で高性能です。

使い方を間違えれば、簡単に人を傷つけられるし、時には命を脅かす脅威にすらなりうる力を兼ねた道具です。

だからこそこの道具も、それを使う人の「心」がもっとも大切なのだと思います。

ですから、少々時間がかかったとしても、次のことは丁寧に確認していきたいと思っています。

「アイパッドは何のために作られたんでしょう」

「学校では何のためにアイパッドを使って勉強するんですか」

単に便利さを享受するだけでなく、目的を確認しながら使っていくこともまた大事な学びだと言えます。

何のために使うのかがしっかりと分かり、使う時の心が整うようになると、その道具を使い方も自ずと整ってきます。

「何のために」を伝えるための数々の「ストーリー」。

これからも、良いタイミングを見計らって伝え続けていきます。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

